

■ 一般目標 (GIO)

歯科衛生活動を行うために、専門的知識、技術、態度について理解し、歯科衛生士として身に付けておくべき基礎を修得することができる。

■ 到達目標 (SBOs)

- ・ 歯科衛生と健康の関わりを説明できる。
- ・ 歯科衛生士の誕生について概要を説明できる。
- ・ 保健行動の理論を説明できる。
- ・ 歯科衛生過程を説明できる。
- ・ 歯科衛生業務に関連する法規を列挙できる。
- ・ 安全管理の必要性を説明できる。
- ・ 倫理の必要性について説明できる。
- ・ 歯科衛生活動の種類と業務の概略を説明できる。
- ・ 海外における歯科衛生士の教育内容を概説できる。

■ 教科書：最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論（医歯薬出版）

■ 参考書：必要に応じてプリントを配布する。

■ 授業時間：月曜日 9：00～9：50

■ オフィスアワー：満足 愛 (manzoku.ai@nihon-u.ac.jp)

国井 知余 (kunii.chiyo@nihon-u.ac.jp)

鈴石 雅子 (suzuishi.masako@nihon-u.ac.jp)

矢野 杏佳 (yano.kyoka@nihon-u.ac.jp)

月曜日～金曜日 9：00～17：00

■ 授業の方法：スライドおよび配布プリントを用いて講義を行う。

■ 準備学習・
準備学習時間：講義内容の復習、予習を行う時間を設けること。

■ 成績評価方法：定期試験(90%)、提出物(10%)で評価する。

■ 実務経験：満足愛：日本大学附属歯科病院にて口腔衛生管理を専門とした歯科衛生業務の経験と歯周病学会認定歯科衛生士としての立場を基に、今後の歯科衛生士に求められる知識や態度についてわかりやすく学べる場を提供したいと考えている。

国井知余：地域保健実習を担当する立場から、歯科衛生活動のための理論を他教科と関連付けて学べる場を提供したいと考えている。

鈴石雅子：日本大学歯学部附属歯科病院、歯科医院、高齢者施設での勤務経験を基に、歯科衛生士の活動について具体的に学べる場を提供したいと考えている。

矢野杏佳：日本大学歯学部附属歯科病院の勤務経験を基に、歯科衛生士の役割をより実践的に学べる場を提供したいと考えている。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2回 4月12日 4月19日 満足 愛	歯科衛生学とは (第1章) 歯科衛生士の歴史 (第2章)	<ul style="list-style-type: none"> • 歯科衛生学の定義を知る。 • 歯科衛生活動のための基礎知識を学ぶ。 • 歯科衛生士の歩みを理解する。
第3～5回 4月26日 5月10日 5月17日 國井 知余	歯科衛生活動のための理論 (第3章)	<ul style="list-style-type: none"> • 歯科衛生士がどのような場において活動しているかを知り、歯科衛生士の現状を把握する。 • 他職種との連携とチーム医療について理解する。
第6～8回 5月24日 5月31日 6月7日 矢野 杏佳	歯科衛生士法と歯科衛生業務 (第5章)	<ul style="list-style-type: none"> • 歯科衛生士業務と役割を理解する。 • 歯科衛生士法に基づく歯科衛生業務を知り、歯科衛生士の専門性を理解する。 • 歯科衛生業務の実践に必要な能力・技術を学ぶ。 • 安全管理について理解する。
第9～11回 6月14日 6月21日 6月28日 鈴石 雅子	歯科衛生士と医療管理 (第6章) 歯科衛生士の活動と組織 (第7章) 海外における歯科衛生士 (第8章)	<ul style="list-style-type: none"> • 医療従事者としての倫理観を学ぶ。 • インフォームド・コンセントにおける権利と義務を学ぶ。 • 活動の場と制度の仕組みを知る。 • 海外における歯科衛生士教育と業務内容を学ぶ。
第12～14回 7月5日 7月12日 7月19日 満足 愛	歯科衛生過程 (第4章)	<ul style="list-style-type: none"> • 歯科衛生業務での歯科衛生過程の流れを理解する。
第15回 8月30日 満足 愛	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> • どのような歯科衛生士を目指すのか、またそのために必要なことは何かを考える。